

事例 5 甘納豆にカビらしきものがあり、苦い。

検査結果：ユーロチウム (*Eurotium*)、ワレミア (*Wallemia*)

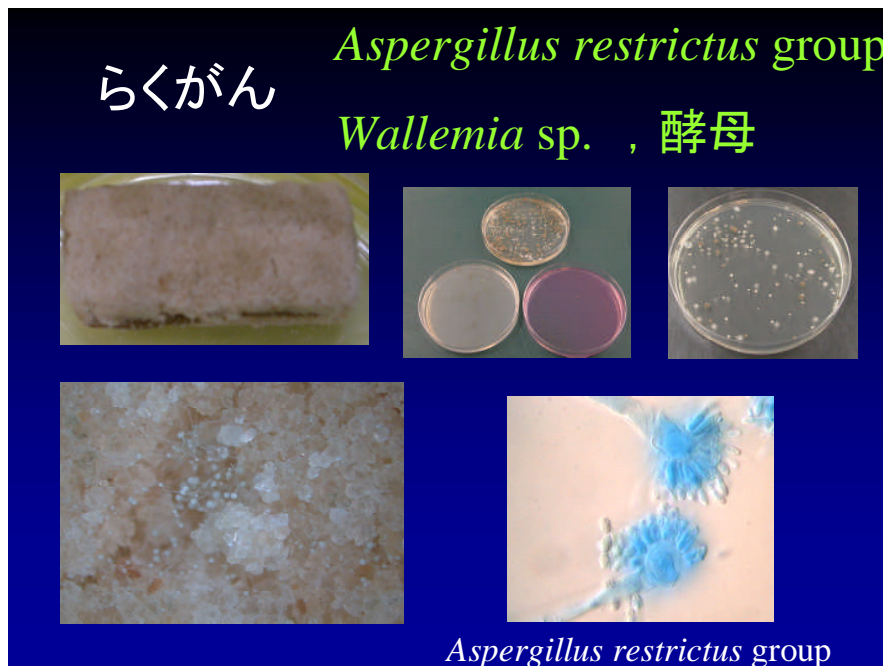


写真説明:甘納豆(左上)。生理食塩水と混合し、その数滴を培地にたらして広げ、25℃で1週間置いたもの。緑と茶色の集落が見える(左下)。ユーロチウムの顕微鏡写真(右上)。培地に生えたワレミア(中下)。ワレミアの顕微鏡写真(右下)。

メモ：ワレミアとユーロチウムは、他のカビよりも水分活性が低くても発育するので、糖分がやや多い食品での発育事例が多い。

事例 6 らくがんにカビらしきものがある。

検査結果：アスペルギルス レストリクタス グループ (*Aspergillus restrictus* group)、ワレミア (*Wallemia*)、酵母



写真説明:らくがん(左上)。拡大鏡でアスペルギルスの丸い分生子頭が見える(左下)。培地にぶどう糖を20%加えると発育するが糖分が少ない培地では発育不良となる(中上)。茶色の集落はワレミア、白い綿状の集落はアスペルギルス、白いつやのある集落は酵母(右上)。アスペルギルス レストリクタス グループの顕微鏡写真(右下)。

メモ：砂糖のかたまりのようならくがんに生えるカビもある。非常に水分活性が低い食品にでも発育するのが、アスペルギルス レストリクタス グループの特徴である。